



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 カンダホールディングス株式会社  
 コード番号 9059 URL <https://www.kanda-web.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原島 藤壽  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 浦野 聡昭 TEL 03-6327-1801  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	39,184	10.5	2,133	△10.3	2,188	△9.5	1,303	△15.7
2022年3月期第3四半期	35,451	8.0	2,379	35.8	2,419	30.6	1,547	27.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,312百万円 (△9.0%) 2022年3月期第3四半期 1,442百万円 (△4.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	121.15	—
2022年3月期第3四半期	143.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	42,624	21,520	50.5
2022年3月期	41,247	20,563	49.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 21,520百万円 2022年3月期 20,547百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2023年3月期	—	17.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,800	2.4	3,100	2.4	3,150	1.7	2,080	6.8	193.26

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	11,654,360株	2022年3月期	11,654,360株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	891,549株	2022年3月期	891,512株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	10,762,845株	2022年3月期3Q	10,762,882株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(連結子会社の四半期決算日等に関する事項)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は継続しつつも、第8波において厳しい制限は緩和され正常化に向かう兆しがある一方、ウクライナ情勢の長期化等の影響による世界的な原材料やエネルギー価格をはじめとする物価高騰、国内では円安やインフレの進展と金利の上昇傾向もあり、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、物流業界におきましては、国内外における貨物量は回復傾向にあるものの、原油価格は高止まりで推移していることから燃料価格の負担は続き、依然として厳しい環境にあります。

当社グループにおきましては、国内部門では、前期から今期にかけて獲得した新規営業や既存の取引の業容拡大、M&A等の要因により営業収益は増収となっているものの、燃料価格をはじめとする各種コストの増加分が運賃などに転嫁しきれていないことや、新規営業所の開設時の初期費用が嵩んだこと等により、利益面におきまして前年を下回っております。一方、国際部門では、引続き特需的な要因はあるものの、これまで継続していた航空輸送・海上輸送の需給逼迫状況が徐々に緩和する傾向が見られております。

このような状況の下、新たに策定した中期経営計画（2022年4月から2025年3月）に基づき、営業力の強化による収益性の向上を図るとともに、燃料価格や各種調達コストの上昇を含めた適正運賃の確保や更なる効率化等、利益の向上に向けた取り組みをスピードを持って進めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は39,184百万円（前年同四半期比10.5%増）となり、営業利益は2,133百万円（前年同四半期比10.3%減）、経常利益は2,188百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失として子会社における送金詐欺損失などを計上した結果、1,303百万円（前年同四半期比15.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、17,083百万円（前連結会計年度末は15,458百万円）となり、1,625百万円増加しました。現金及び預金の増加346百万円、受託現金の増加1,164百万円、受取手形、営業未収金及び契約資産の増加112百万円、リース投資資産の減少115百万円が主な要因です。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、25,540百万円（前連結会計年度末は25,789百万円）となり、248百万円減少しました。投資その他の資産に含めて表示しております差入保証金の増加123百万円、建物及び構築物（純額）の減少271百万円が主な要因です。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、14,364百万円（前連結会計年度末は13,374百万円）となり、989百万円増加しました。預り金の増加1,298百万円、その他に含めて表示しております未払金の増加170百万円、短期借入金（一年内返済予定長期借入金含む）の減少143百万円、未払法人税等の減少251百万円、賞与引当金の減少198百万円が主な要因です。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、6,739百万円（前連結会計年度末は7,309百万円）となり、569百万円減少しました。長期借入金の減少433百万円、リース債務の減少160百万円が主な要因です。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、21,520百万円（前連結会計年度末は20,563百万円）となり、957百万円増加しました。利益剰余金の増加948百万円が主な要因です。

この結果、自己資本比率は0.7ポイント上昇し、50.5%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結累計期間の業績予想につきましては、前回発表（2022年5月13日付）の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な不確定要素や今後の業況等により、実際の業績とは異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,500	5,847
受託現金	2,767	3,931
受取手形、営業未収金及び契約資産	5,665	5,777
棚卸資産	149	153
前払費用	342	313
リース投資資産	667	552
その他	374	519
貸倒引当金	△9	△11
流動資産合計	15,458	17,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,477	8,206
土地	9,879	9,879
その他（純額）	2,630	2,500
有形固定資産合計	20,988	20,587
無形固定資産	808	784
投資その他の資産	3,991	4,169
固定資産合計	25,789	25,540
資産合計	41,247	42,624
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,817	3,736
短期借入金	3,549	3,405
未払法人税等	525	273
預り金	2,873	4,171
賞与引当金	340	142
その他	2,268	2,634
流動負債合計	13,374	14,364
固定負債		
長期借入金	3,469	3,035
リース債務	804	644
役員退職慰労引当金	300	293
退職給付に係る負債	1,090	1,132
資産除去債務	43	43
その他	1,600	1,590
固定負債合計	7,309	6,739
負債合計	20,684	21,103

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772	1,772
資本剰余金	1,634	1,634
利益剰余金	17,052	18,000
自己株式	△330	△330
株主資本合計	20,128	21,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	452	501
為替換算調整勘定	△16	△44
退職給付に係る調整累計額	△17	△13
その他の包括利益累計額合計	418	443
非支配株主持分	16	0
純資産合計	20,563	21,520
負債純資産合計	41,247	42,624

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収益	35,451	39,184
営業原価	31,421	35,283
営業総利益	4,030	3,900
販売費及び一般管理費		
役員報酬	261	305
給料及び手当	527	528
賞与引当金繰入額	19	37
退職給付費用	23	25
役員退職慰労引当金繰入額	21	20
その他	797	849
販売費及び一般管理費合計	1,650	1,767
営業利益	2,379	2,133
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	54	42
為替差益	—	26
その他	88	57
営業外収益合計	143	127
営業外費用		
支払利息	44	38
保育園運営費用	33	30
為替差損	9	—
その他	16	2
営業外費用合計	103	71
経常利益	2,419	2,188
特別利益		
固定資産売却益	16	13
特別利益合計	16	13
特別損失		
固定資産除売却損	7	0
子会社における送金詐欺損失	—	40
特別損失合計	7	41
税金等調整前四半期純利益	2,428	2,160
法人税等	880	856
四半期純利益	1,547	1,304
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,547	1,303

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,547	1,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118	48
為替換算調整勘定	11	△44
退職給付に係る調整額	2	3
その他の包括利益合計	△104	8
四半期包括利益	1,442	1,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,433	1,328
非支配株主に係る四半期包括利益	8	△15



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(連結子会社の四半期決算日等に関する事項)

連結子会社のうち、Pegasus Global Express (Thailand) Co.,Ltd. 及びPT.Pegasus Global Express Indonesiaの第3四半期決算日は9月30日であります。当該四半期決算日の四半期財務諸表を用いて四半期連結財務諸表を作成しております。ただし、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。